

ほつと、ひとこと。

◎9月定例会の決算特別委員会の市長質疑で、不法投棄の防止について質問しました。本市では不法投棄等を未然に防止するため、不法投棄されやすい林道や臨海部を中心にパトロールを行っています。夜間、土曜日・日曜日もパトロールを実施して、不法投棄の防止や発見した不法投棄物の撤去指導を行うなど対策を強化していますが依然として不法投棄は後を絶ちません。不法投棄をそのまま放置しているとまた新たなごみが廃棄されます。家庭や事業所から出たごみ(廃棄物)は、出した人が「ごみ出しルール」や「廃棄物処理法」に従って、適正に処理することが必要です。しかし、ごみを山や空き地などに捨てる「不法投棄」が後を絶たず、環境に大きな影響を与えています。本市では不法投棄に対し「捨て得は許さない」との考え方で、監視カメラ設置や通報員制度などの取組みを行うとともに、警察と連携して摘発などを進めていますが、より効果的な方法として、不法投棄等を発見した場合に環境センターにスマホで通報できるシステムを導入し不法投棄をなくしていくことを提案しました。提案に対し環境局からシステムの導入に向けて前向き検討していくと答弁を引き出しました。

不法投棄について…

廃棄物の不法投棄や焼却行為(野焼き)は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により禁止されており、これに違反した場合の罰則(5年以下の懲役もしくは1千万円以下(法人にあっては3億円以下)の罰金、またはこれを併科)も規定されています。

ただし、廃棄物の野焼きは原則全面禁止ですが、政令で例外的に認められるものもあります。

- 1 法令に基づく焼却(伝染病家畜、松くい虫被害伐木の焼却等)
- 2 国や地方公共団体が施設管理を行うために必要な焼却
- 3 震災等の災害の予防、応急対策または復旧のために必要な焼却
- 4 風俗慣習上または宗教上の行事を行うために必要な焼却(どんど焼き等)
- 5 農業、林業または漁業を営むためにやむを得ない焼却(稲わらの焼却等)
- 6 たき火その他日常生活を営む上で通常行われる程度の軽微な焼却(キャンプファイヤー等)

これらに該当する野焼きでも、煙やにおいにより近所へ迷惑がかかるなど生活環境に影響を与えるものについては、処理基準違反として指導の対象になります。



お知らせ

北九州市議会12月定例会は
12月4日(木)～12月12日(金)まで開催されます。
北九州市議会のウェブサイトでライブ中継・録画がご覧いただけます。北九州市議会のHPはこちら



北九州市政に関するご意見・ご要望、身近な問題・課題などお聞かせください。

いずみひでお 事務所

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町1-27-23-101

E-mail 123hideo0104@gmail.com

TEL 093-967-6615

FAX 093-967-6698

いずみひでおのホームページ
https://izumi-hideo.com



FaceBookにも日々の活動を更新中!

https://www.facebook.com/izumi.hideo



泉日出夫●1968年1月4日生まれ●広徳小、広徳中、小倉工業高校、九州国際大学卒業●福岡県立豊津高校(現:育徳館高校)社会科講師を経て中小企業アドバイザーとして勤務●福岡県議会議員を二期8年●国民民主党福岡県連幹事長、下南方東町内会長、徳力校区自治連合会副会長、保護司その他兼任



みらいへ、つなぐ、つながる。

北九州市議会議員

いずみひでお

市政報告



HIDEO IZUMI / Kitakyushu Municipal Administration Report

Vol.11

北九州市の未来を、市民の皆さんとともに創る

◎今年の夏は統計開始以来、最も暑い夏となり全国的に平年より大幅に気温が高くなりました。特に7月は最も暑く、8月下旬から10月にかけても厳しい残暑が続くと予想されていました。ただ、11月に入ると朝夕の冷え込みで昼間との気温差が10℃近くになる日もあり体調不良で悩んでいる方も多くいらっしゃいます。引き続き体調管理に気をつけてお過ごしください。北九州市議会議員として2期目も皆様のおかげで順調に活動させていただいています。事務所には日々多くの方にお越しいただき仕事や家庭、地域のことなど、様々な相談を聞かせていただいています。引き続き地域の課題に全力で取り組み、寄せられた意見を北九州市発展につなげていく決意です。

◎株式会社帝国データバンクが9月30日に公表した「食品主要195社」価格改定動向調査によると、2025年10月1日から値上げされる飲食料品は合計3024品目に達し、今年4月以来、半年ぶりに3000品目を上回る大規模な値上げラッシュとなりました。この結果、2025年の値上げ累計品目数は12月までの公表分で20,381品目となり、2023年以来2年ぶりに2万品目の大台を超えました。10月の値上げを食品分野別に集計すると「酒類・飲料」の品目数が圧倒的に多く、全体の約75%を占めています。飲料メーカー各社の主力商品は軒並み20円前後の値上げとなり、ペットボトルや缶コーヒーといった日常的に手に入る商品が中心で、お気に入りの一本をどう選ぶか、まとめ買いやPB商品への切り替えなど、工夫が必要となりそうです。このような食品価格の上昇は家計に大きな影響を与えており、実質的な生活水準が上がらないことが懸念されています。まずは生活に直結する支出を抑える政策が必要と考えますが政府の物価高対策が期待されます。

◎北九州市議会では、9月4日から10月7日まで令和7年9月定例会が開催され、会派を代表して一般質問※次ページ参照を行い、市長並びに担当局長から前向きな答弁を引き出しました。議会では8月の大雨による被害の復旧費用などを盛り込んだ総額11億6770万円の2025年度一般会計補正予算や、「文化財保護審議会」の設置根拠を地方自治法から文化財保護法に改める条例改正案など計65議案を可決して閉会しました。

◎これからも、市民の皆さまの暮らしや仕事に密着した疑問や質問に応えてまいります。今後も、平日の夜間や土・日曜日でも事前にご連絡いただければ事務所を開けて相談に対応致します。お気軽にご連絡ください。

いずみひでお



北九州市
MIRAIのカタチ①
自らの性別に悩む児童生徒及び
その家族への対応について

差別や偏見のない 多様な人々と共生できる街に！

児童生徒が性の多様性について学ぶために、
小・中学校でどのように取り組んでいるのかお聞かせください。
合わせて、保護者やその家族で
性の多様性についての理解を深めるために、
どのような情報発信を行っているのかをお聞かせください。

令和7年9月定例会一般質問にて



〔答弁〕 小学校では、保健において性別に対する悩み道徳において北九州市独自の教材「新版いのち」を活用した、性別に違和感がある人への理解、中学校では、保健体育において性の多様性や互いを尊重すること、社会科においてLGBTQへの差別や偏見などについて学んでおります。さらに、教職員が、児童生徒から相談を受けた場合の対応について、各学校では、教育委員会作成の「教職員のためのLGBTQの子どもたちへの支援ハンドブック」を活用し、性の多様性を正しく理解することができるよう校内研修を行っております。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

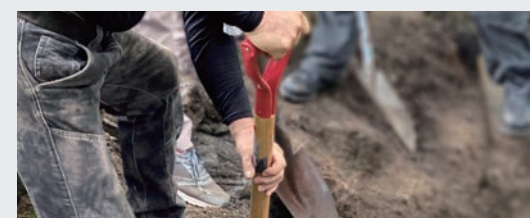
◎ この問題については、「いじめ防止対策推進法」に基づいて、性同一性障害や、性的指向、性自認に関わる児童生徒に対するいじめを防止するために、教職員への正しい理解の促進や、必要な対応について、周知が明記をされています。いじめや差別は許さない生徒指導や人権教育を推進することを願います。

北九州市
MIRAIのカタチ②
市民と協働した
防災対策について

市民ボランティアと連携した 災害対応に強い街に！

本市では、阪神・淡路大震災の際に、
住民の自主防災活動の重要性が指摘されたことを契機に、
防火・防災活動を一体的に推進する組織として、
「市民防災会」を結成していますが、
本市の市民防災会の現状に対する認識をお聞きします。

令和7年9月定例会一般質問にて



〔答弁〕 市民防災会の現状につきまして、1つ目に活動を実践するリーダーの育成、2つ目に参加者の固定化や高齢化、3つ目に次世代への継承の停滞、4つ目に災害危険区域や災害経験の有無による防災意識の地域差などが課題と認識しております。さらに、コロナ禍で停止した活動が以前の水準に戻らず、防災への関心や意識への影響も危惧されるところです。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎ 市民ボランティアの活用を含めた効果的な方法を地域と話し合いながら、幅広く検討していただきたい。現在、北九州市内には防災士の資格を持った方が775人程度いらっしゃいます。ぜひ防災士の方との連携も進めていただければと思います。

北九州市
MIRAIのカタチ③
日産自動車九州の
支援プロジェクトチームについて

地域産業の発展で 豊かさを実感できる街に

日産自動車が、神奈川県の実業工場での車両の生産を
2027年度末に終了し、
苅田町にある子会社「日産自動車九州」へ移管・統合すると
発表したことを受けて、円滑な生産移管がなされるよう、
どのような取り組みを行いますか。

令和7年9月定例会一般質問にて



〔答弁〕 具体的な取組といたしましては、関連サプライヤーや従業員の方々などに対しまして庁内に特別相談窓口を設置。今後の支援メニューとして、1つに、ビジネスマッチングや設備投資補助など市内外の関連サプライヤーに対する支援。2つ目に、部品等の輸送に関する相談など物流面での支援。3つ目に、移住の相談や住宅の紹介など従業員の皆様に対する支援などを柱として準備を進めておりまして、生産移管の詳細が決定次第、ニーズに応じてスピード感をもって対応してまいりたいと考えております。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎ 福岡県の服部知事が同様の質問に対して北九州市と連携していくといった答弁をされておられます。今後、福岡県、苅田町、行橋市とも連携して、この生産移管についてしっかり支援をして頂ければと思います。また、設置をした特別相談窓口の周知の徹底と、相談に対し丁寧に対応していただくことを願います。

北九州市
MIRAIのカタチ④
中学校スポーツ大会の
開催・運営について

中学生がスポーツで 力が発揮できる街に！

猛暑で熱中症対策が叫ばれる中、
市内の多くの中学生が参加する
中学校体育連盟の大会について、
選手の安全対策や開催時期、運営などについて、
どのような要望や意見交換を行っているのか。

令和7年9月定例会一般質問にて



〔答弁〕 熱中症リスクの高い軟式野球やサッカーなどの屋外競技を中心に、夏季大会、夏の大会の開催時期を7月中旬から6月下旬に前倒しをしたほか、会場に看護師等を配置し、緊急時にも迅速に対応できる体制が整えられてきました。今後も、生徒の命と健康を最優先に、中学校体育連盟と連携しながら、生徒にとって思い出の大会にできるように、意見交換や支援を続けてまいりたいと考えております。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎ 年間のカリキュラムの中では、夏場に大会が集中をするということはやむを得ないことだと思いますが、選手の安全に配慮し開催時間帯の変更や屋外であれば大型扇風機を導入、運動後に身体を冷やすエリアを設けるなど、万全な暑さ対策で中学生時代のかげがえのない思い出となることを臨みます。